

「弁天町駅周辺まちづくりビジョン(案)」にかかる
パブリックコメントに寄せられた意見と港区の考え方

No.	ご意見の要旨	港区の考え方
1	市岡商業の跡地を緑溢れる公園してほしいです。	貴重なご意見ありがとうございます。 いただいたご意見のとおり、弁天町駅周辺におきましては、水・みどりの充実は大変重要なものと認識しております。 水・みどりの充実は、都市環境の改善、生物多様性の向上、地域コミュニティの醸成、環境教育による人材育成など、様々な効果があるとともに、うるおいのある街並みを形成し、都市の風格や都市イメージを高める役割もあります。今後、民間事業者の協力も得ながら、様々な機会を利用し、みどりの充実や親水性の向上に努めてまいります。
2	みどりを増やしていくことは賛成です。大阪市内で近年、街路樹や公園樹の伐採が増えており、疑問に思っています。緑はヒートアイランドの抑制や熱中症の防止、水害軽減機能、野鳥等の生物への生息環境、人にとってもやすらぎの空間になります。港区を緑あふれる空間にして頂きたいと思います。 また、生物多様性に配慮し、もともと大阪に生えている多様な樹木や草本の植栽をして頂きたいと思います。現在植栽されている樹木を伐採する必要があるなら、可能なものは移植して頂きたいと思います。	
3	近年の都市開発は中心に水とみどりを据え、周辺一帯の付加価値を向上させることでエリア全体のリノベーションを推進するのが主流になっています。行政の役割は地域の民間用地の価値をいかに向上させ、再開発を促すかという点にあり、行政の所有している土地で、商売をする必要はありません。 市岡商業高校跡地を活用した水・みどりのある豊かな環境の創出は採算ベースではなかなか実現できない、行政のやるべき事業だと言えます。	
4	市岡商業高校の跡地は、子どもたちが広く遊べる緑地帯の整備と、保育園や小児科・産科など子育て環境を充実させる機能を含めた活用が望ましいです。これは、子育て世帯の流出を防ぐことにつながります。 また津波対策として、建物を作る際には上層階に避難所機能や備蓄倉庫などの機能を整備することが重要と考えます。	

「弁天町駅周辺まちづくりビジョン(案)」にかかる
パブリックコメントに寄せられた意見と港区の考え方

No.	ご意見の要旨	港区の考え方
5	市岡商業高校跡地に大規模（1万人規模）のアリーナを誘致・建設することを提案します。1万人規模のアリーナであれば音楽ライブ、スポーツイベント、MICEなどを執り行うことが可能です。また、近隣にあるAsueアリーナ大阪や大阪城ホールの予定が埋まっていることから、スポーツや音楽ホールの需要も高いと考えています。 アリーナは集客力があり地域での消費活動が期待できる他、歩行者交通量が増加すれば、歩行者デッキの整備に対する大阪府・大阪市の支援も期待できます。 また、アリーナは災害時の避難所としても活用でき、防災機能の向上も期待できます。	貴重なご意見ありがとうございます。 いただいたご意見のとおり、弁天町駅周辺におきましては、大阪のニシの玄関口にふさわしいにぎわいの形成及び防災機能の向上は大変重要なものと認識しております。「市岡商業高等学校跡地」の活用検討において参考とさせていただきます。
6	弁天町駅一帯の開発について、「都市再生緊急整備地域」および「特定都市再生緊急整備地域」の指定を受けることを提案します。これによるベイエリアの開発と連動した弁天町駅周辺一帯の発展を期待しています。また、官民連携等のスキームにより低利用地を集約し、土地転用や再開発を連鎖的に起こすことも必要と考えます。	貴重なご意見ありがとうございます。 いただいたご意見のとおり、大阪のまちづくりグランドデザインにおいて国際観光拠点をめざすとしているベイエリアの開発と連動しながら、官民で連携して未利用地・低利用地の活用を図っていくことは大変重要なものと認識しております。ビジョン策定後の取組において、参考とさせていただきます。
7	港区西部の過疎化が進行していますが、港区全域で住民が戻ってくるようなまちにする必要があります。小中学校の統廃合により、校舎が取り壊されることもあります。住民が戻るために建物をそのままにしておくことは出来ないでしょうか。磯路のさくら通りの復活や伐採した公園の木の復活など、情緒ある町作りをお願いいたします。	貴重なご意見ありがとうございます。 いただいたご意見につきましては、「港区エリア別活性化プラン」における各エリアの取組の推進や今後進める学校再編の取組等の参考とさせていただきます。

「弁天町駅周辺まちづくりビジョン(案)」にかかる
パブリックコメントに寄せられた意見と港区の考え方

No.	ご意見の要旨	港区の考え方
8	「幹線道路によるまちの分断を解消し、駅周辺が一体となった回遊性向上の推進」という方向性は良いと思いますが、簡単に解決するものではなく、現実とかけ離れているのではないかと思います。「強力に推進」や「関係機関との調整を密にする」等の強いメッセージを出してほしいです。	貴重なご意見ありがとうございます。 いただいたご意見のとおり、幹線道路によるまちの分断の解消については、道路空間の再構築などの物理的な対策だけでなく、歩きたくなるような緑化や店舗を増やすなどの人の活動で取組を拡大していくことや、スマートモビリティの活用によるエリア間移動の円滑化などに取り組んでいくこととしています。 それとともに、いただいたご意見のようなバリアフリーへの抜本的な対策については、区役所で設置している交通バリアフリー弁天町地区連絡調整会議における関係者間での連携を強化して検討してまいります。 なお、ご意見を踏まえ、ビジョンにおいて下線部分追加・修正します。
9	中央大通と国道43号の交差点をスクランブル交差点にしてほしいです。無理な横断による危険性が下がり、地域間の回遊性が飛躍的に向上すると考えています。実現にあたっては中央大通りと43号線の車の交通量が問題となるため、下記2点の対策を検討していただきたいと思います。 ①国道43号について、北側から来た際の有料区間を大正区あたりからに変更する。 ②国道43号について、北側から来た際の出口を弁天町駅より南側に変更する。	《追加・修正内容》 本編P.26(概要版では2枚目左下) 6.(2)回遊性の向上 説明文 ・バリアフリー基本構想の推進に向けて、関係者間での連携強化を図り、上空、地上、地下レベルでの更なる動線確保に取り組む。
10	外国の方を含め、多様な人たちが過ごしやすい地域にすることに賛成です。障がいのある方や高齢者も過ごしやすいよう、通路の幅の確保等、バリアフリー化を進めて頂きたいです。	

※ 受け付けた意見総数は12件ですが、そのうち2件が同じ内容であったため1つにまとめています。

また、1件が本ビジョンと直接関連性のない記述であったため、当一覧表には記載しておりません。